

令和3年度実施事業 実施報告会

市民活動げんき基金補助事業

と き 令和4年5月22日(日)
ところ 市役所本庁舎4階 会議室5

【進行スケジュール】

13:00 開会

◆スタート支援の部

13:10 報告(2事業)

◆ステップアップ支援の部

13:46 報告(4事業)

15:06 総括質疑・あいさつ

15:40 終了

新型コロナウイルス感染症市内まん延防止のため、発表団体及び市民活動推進委員会委員は原則オンラインで参加します。
傍聴ご希望の方は会場までお越しください。



令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業 実施報告書
目次

令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会 進行予定表	1
令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業について	2
市民活動げんき基金にご寄附いただいた方々	5
茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿	7
令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業実績報告書	
◆◆スタート支援◆◆	
① 「子どもとワークショップ×おはなし勉強会」 ふらっと南湖	8
② 茅ヶ崎市の産後のお母さんのためのポータルサイト ママほぐ	14
◆◆ステップアップ支援◆◆	
① 捨てられる動物たちの命を救うイベント「わんにゃんマルシェ」	
わんにゃんマルシェ実行委員会	22
② みみとこころのポータルサイト一般社団法人4Hearts	30
③ 夏休み子ども向けSUP体験会	
特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン	42
④ ～市民活動団体にIT伴走する～「Webサポーター育成事業」	
NPO法人セカンドワーク協会	52

令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業実施報告会 進行予定表

各団体が10分程度で事業の実施状況を発表し、その後、6分程度で市民活動推進委員会が今後の事業展開や収支決算等についてコメントします。

◆スタート支援の部

13:00 開会（委員長あいさつ、委員紹介、進行及び評価方法についての説明）

発表時間		事業名	団体名
13:10	1	「子どもとワークショップ×おはなし勉強会」	ふらつと南湖
13:28	2	茅ヶ崎市の産後のお母さんのためのポータルサイト	ママほぐ
13:46	3	捨てられる動物たちの命を救うイベント「わんにゃんマルシェ」	わんにゃんマルシェ実行委員会
休憩(14:04～14:14)			
14:14	4	みみとこころのポータルサイト	一般社団法人4Hearts
14:32	5	夏休み子ども向けSUP体験会	特定非営利活動法人SUPUスタンドアップパドルユニオン
14:50	6	～市民活動団体にIT伴走する～ 「Webサポーター育成事業」	NPO法人セカンドワーク協会
総括質疑(15:06～15:30)			

15:40 閉会（委員長あいさつ）

令和3年度実施市民活動げんき基金補助事業について

1 申請団体募集

広報ちがさき、市公式ホームページ等で申請団体を募集しました。

○募集期間 令和2年12月1日（火）～令和3年1月14日（木）

2 企画書作成会

○日時 令和2年12月11日（金）～12月25日（金）までの間

事前予約制・個別実施

3 公開ヒアリング及び公開プレゼンテーション

スタート支援申請事業については、市民活動推進委員会委員による申請団体へのヒアリングを行いました。

ステップアップ支援申請事業については、申請団体によるプレゼンテーションと、市民活動推進委員会委員との質疑応答を行いました。

○日時 令和3年3月20日（土）

9時30分～12時30分

○会場 市役所本庁舎4階 会議室5

○対象 スタート支援2団体、ステップアップ支援4団体

4 補助事業の選考

非公開の選考会議で、市民活動推進委員会委員が各団体の事業内容を次の項目で評価しました。

（スタート支援申請事業については★印がある3項目のみを評価）

- (1) 公益性★：事業の成果は、多くの市民の利益となるものであるか、または多くの市民の利益につながるものであるか。
- (2) 発展性★：補助を受けることで、団体や事業の発展につながるか。
- (3) 費用の妥当性★：対象経費の内容、補助の申請額は妥当であるか。事業の内容や効果が、金額と見合うものであるか。
- (4) 地域性：地域住民のニーズに合うものであるか。
- (5) 先駆性：これまでに無い（少ない）新しい取り組みであるか、または新たな視点、発想から（再）提案されたものであるか。
- (6) 事業実現性：実行可能な方法、スケジュール、予算で事業計画が立案されているか。
- (7) 自立性：自己努力による資金確保に努めているか。
- (8) 継続性：補助事業が終了した後も、継続的な展望を描くことができる活動か。

5 選考結果

選考会議の審議結果（事業及び補助額の評価結果）は、市長に報告され、市長が予算の範囲内で各事業の採択及び不採択を決定しました。

6 事業実施後の評価について

（1）市民活動推進委員会の評価

市民活動推進委員会は、団体が市民活動推進補助金により実施した事業の報告を受けて、当該事業に対して次のような観点から5段階評価を行うとともに、コメントを付します。

- 事業の実施状況（事業内容）について
- 事業の効果について
- 今後の展開や発展について

（2）段階評価

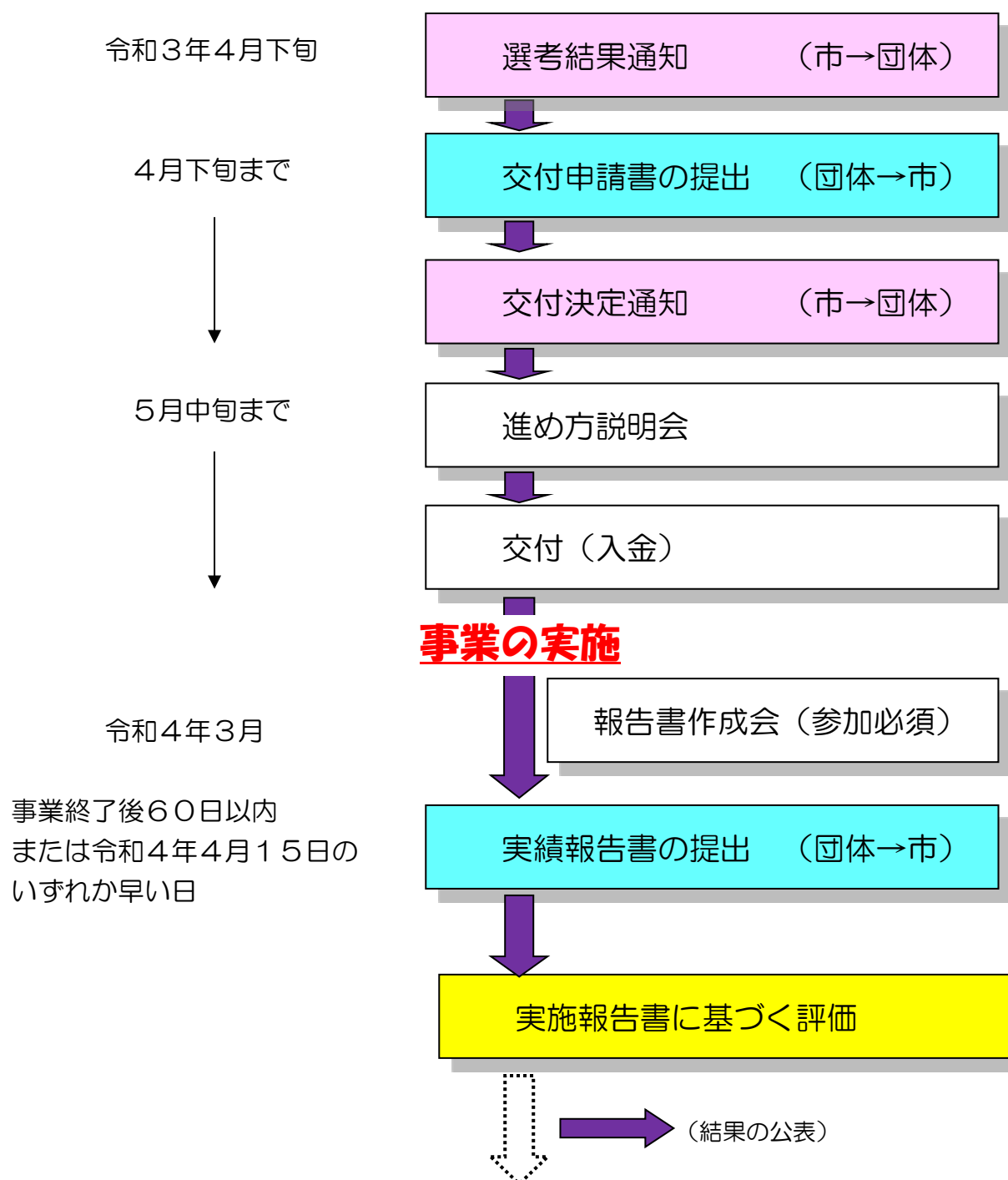
市民活動推進委員会が行う「事業内容」「効果」についての評価は、5段階評価とします。

評点	評価段階
5	事業実施前の想定をはるかによい方向に上回った。
4	事業実施前の想定をやや良い方向に上回った。
3	事業実施前に想定した範囲の内容であった。
2	事業実施前の想定よりやや低いと感じられた。
1	事業実施前の想定よりはるかに低いと感じられた。

（3）市民活動推進委員会の役割

個々の事業実施結果に対し、第三者的視点からの評価、助言を行うとともに、補助事業の全体像を把握することで、今後の制度改善や市民活動の推進、団体サポート等についての審議を効果的に進め、評価結果及び審議結果を行政にフィードバックします。

7 事業実施前の準備から評価までの流れ



評価結果は、市民自治推進課で一元管理し、市民活動の推進及び制度の改善に活用します。

市民活動げんき基金にご寄附いただいた方々

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

寄附者（敬称略）	寄附年月日	寄附金額	
楽譜の読み方勉強会	令和3年4月1日	1,056	円
ダイードリンク株式会社	令和3年4月9日	1,996	円
湘南ヤクルト販売株式会社	令和3年4月21日	8,425	円
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和3年5月18日	25,028	円
令和2年度実施事業実施報告会設置募金箱	令和3年6月1日	470	円
錦織 弘	令和3年6月30日	12,000	円
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和3年8月31日	5,477	円
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和3年9月10日	4,331	円
益永 律子	令和3年9月27日	20,000	円
錦織 弘	令和3年9月30日	50,000	円
ダイードリンク株式会社	令和3年10月7日	1,054	円
ふるさと納税	令和3年10月20日	40,000	円
歌声サロン「チーパッパ」	令和3年10月26日	1,524	円
くまじ株式会社 きもの研究会	令和3年10月27日	27,000	円
湘南ヤクルト販売株式会社	令和3年11月16日	12,769	円
歌声サロン「チーパッパ」	令和3年11月25日	2,026	円
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和3年12月1日	35,270	円
歌声サロン「チーパッパ」	令和3年12月24日	2,111	円
ふるさと納税	令和3年12月31日	30,000	円
特定非営利活動法人NPOサポートちがさき	令和4年2月7日	5,410	円
令和4年度実施事業公開ヒアリング・プレゼンテーション会場設置募金箱	令和4年3月19日	1,000	円
匿名	令和4年3月31日	10,000	円
合計		296,947円	
17年度からの累計		12,532,922円	

市民活動げんき基金自動販売機設置協力企業様からの寄附

市民活動げんき基金自動販売機設置協力企業様から、対象となる自動販売機の売り上げの一部をご寄附いただきました！

寄附者（敬称略）	寄附対象自動販売機設置場所
湘南ヤクルト販売株式会社	茅ヶ崎市体育館
ダイドードリンコ株式会社	小和田公民館
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	浜須賀会館 海岸地区コミュニティセンター 小出地区コミュニティセンター コミュニティセンター湘南 茅ヶ崎地区コミュニティセンター 鶴嶺東コミュニティセンター 鶴嶺西コミュニティセンター 高砂コミュニティセンター

茅ヶ崎市市民活動推進委員会委員構成名簿

令和4年3月1日現在

区分	委員名	所属
市 民	おお はた とも こ 大 畑 朋 子	公募
	まち だ ゆ き 紀 町 田 有 紀	
市民活動を行う ものの代表者	さか た み ほ こ 坂 田 美 保 子	特定非営利活動法人湘南 NPO サポートセンター
	いち かわ あゆみ 市 川 歩	特定非営利活動法人湘南スタイル
事業者の代表者	かん の あつし 菅 野 敦	湘南信用金庫執行役員茅ヶ崎営業部
	もり なが のぶ みち 森 永 信 道	公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
学識経験を 有する者	き じま よし お 貴 島 義 夫	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会
	うみ の まこと 海 野 誠	社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
	はら だ こう き 原 田 晃 樹	立教大学コミュニティ福祉学部
	やま だ しゅう じ 山 田 修 嗣	文教大学国際学部

市民活動推進補助事業実績報告書

令和4年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 ふらっと南湖

代表者氏名 松本 素子

令和3年4月26日付け茅市自第34号で交付決定を受けました「子どもとワークショップ×おはなし勉強会」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり



2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>「子どもとワークショップ ×おはなし勉強会」</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>●「子どもとワークショップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで「子どもの権利」のワークショップが困難だったため、早稲田大学里親研究会から借りたイラスト展を南湖ハウス内(7/17～10/25)、松林公民館(9/18～10/9)と南湖公民館(10/7～10/28)で行い、絵本の展示もしました。 ・3/31の年度末ぎりぎりでしたが「子どもの権利って？」のワークショップを行うことができました。参加者は、一組の親子でしたが、子どもさんからは「ヤなことを言われたい権利」。お母さんからは「子どもの権利って、やっていいこと、やられたくないことを子どもが自由に選んでいいってことかな。」と聞き、具体的でとても勉強になりました。また、近所の絵画教室の先生も来てくれて「カルタやゲームにして学べるといいですね」というアドバイスをいただきました。 <p>●「おはなし勉強会」</p> <p>実施方法:南湖ハウスに来ていただいて講演と質疑応答で理解を深める。まずは社会的養護を知ってもらうことに主軸を置いて、イベントを作りました。</p> <p>① 8/28子どもサポーター勉強会 [参加者11人]</p> <p>テーマ:『社会的養護って?児童養護施設ってどんなところ?』 ゲスト:井上仁さん(東京都職員として児童養護施設・児童自立支援施設・児童相談所を30年間にわたり務め、日本大学文理学部社会福祉学科の元教授)</p> <p>② 9/26子どもサポーター勉強会 [参加者7人]</p> <p>テーマ:『里親って誰でもなれるの?』『短期の里親もあるの?』『実際子どもを受け入れてどうでしたか』 ゲスト:茅ヶ崎の里親二人の対談</p> <p>③ 10/17子どもサポーター勉強会 [参加者5人]</p> <p>テーマ:『児童相談所ってどんなところ?』『児童福祉司ってなにをするの?』 ゲスト:児童相談所の元児童福祉司の福島栄子さん</p> <p>④ 11/27子どもサポーター勉強会 [参加者6人]</p> <p>テーマ:『児童養護施設ってどんなところ?』 ゲスト:児童養護施設の前職員の鈴木智善さん</p> <p>⑤ 1/22 子どもサポーター勉強会 (早稲田大学里親研究会合同)</p> <p>テーマ:『これまでの当事者活動～20歳から突然はじまったスピーカーというお仕事～』 [参加者1人] ゲスト:社会的養護出身モデル「たすけあいch」運営、一般社団法人ゆめさぼ代表理事田中れいかさん</p>

	<p>⑥ 2/19子どもサポーター勉強会（早稲田大学里親研究会協働） [参加者1人] テーマ：「保育者の関わりと子どもの権利の保障」について ゲスト：川崎市こども未来局 行政担当紙屋氏</p> <p>⑦ 3/12子どもサポーター勉強会（早稲田大学里親研究会協働） [参加者1人] テーマ：「保育者の関わりと子どもの権利の保障」について ゲスト：児童養護施設「子供の家」早川悟司氏他</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「子どもとワークショップ」 「おはなし勉強会」</p>
事業の参加者数	<p>参加者数は、のべ32名（内訳は実施内容に記載）。</p> <p>参加費は32名分ですが、スタッフや当事者からは参加費をいただいでいませんので、参加人数はもっと多くなります。（早稲田大学里親研究会の参加者の合計は不明です）</p>
事業の日程	<p>●「子どもとワークショップ」 「子どもの権利」 イラスト展（コロナでワークショップの代替活動）</p> <p>①南湖ハウス内（7/17～10/25） ②松林公民館（9/18～10/9） ③南湖公民館（10/7～10/28） ④2022.03.31「子どもの権利って？」南湖ハウスワークショップ</p> <p>●「おはなし勉強会」＝子どもサポーター勉強会 8/28, 9/26, 10/17, 11/27, 1/22, 2/19, 3/12 7回実施</p>
事業の成果と今後の展開	<p>今年度は、南湖ハウスは「どんな問題意識をもって」「何をしようとしていくところなのか」をまず、伝えるところから始め、基盤となる「子どもの権利」の啓発をしました。発信してみると、多くの方が聴く耳を持っていることがわかり、とても励まされた一年でした。</p> <p>7月にタウンニュース、8月に茅ヶ崎テレビ、号外ネット、Cheeega、1月以降も東京新聞、 J-com、赤ちゃんとママ社からも取材をいただきました。</p> <p>「虐待を無くしたい」から始まった活動ですが、『虐待は孤立から生まれる』ことは確実で、その虐待から親が離れるには他人が必要です。「明るく楽しく元気な気持ちのお母さん」でいることを逆算して考え、作っていくことこそ南湖ハウスの企画であり、文化交流事業なのです。</p> <p>Cheeegaの取材で、神奈川県<small>の</small>非常勤顧問で茅ヶ崎市のSDGs推進アドバ</p>

イザーもされている川廷昌弘さんから「子どもの権利」の大切さを改めて気づかされ、また南湖ハウスの役割が「発信」というご意見を頂いたので、これからもじっくり丁寧にやっていこうと思いました。

●建設中から3月末までの見学者アンケート回答者数 132人

●クラウドファンディング 303人の方から2,291,967円のご寄付

収支決算書

ふらっと南湖

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
事業収入	40,000	16,000	勉強会参加費(500円×32人)
	15,000	300	ワークショップ参加費 300円×1組
補助金収入	100,000	100,000	げんき基金
団体収入	14,613	16,176	ふらっと南湖にて負担
	169,613	132,476	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
講師謝金	96,000	28,000	6,000円×1人(9月) 10,000円×1人(10月) 12,000円×1人(11月)
物品費	52,601	8,250	子どもの権利の絵本 1,650×5冊
		1,138	プリーツマスク 547円 手指消毒用アルコール 591円
		1,870	模造紙 440円 不織布マスク 220円 付箋 220円 マーカー及びイレーザー 440円 手指消毒用アルコール 440円 使い捨て手袋 110円
		2,185	フェイスシールド
		1,017	手洗い石鹸 250円 不織布マスク 767円
		13,413	インク代(6月・1月)
		11,785	★「南湖ハウス通信」用紙代、封筒
		38,132	★切手・送料
印刷製本費	21,012	19,660	★4/19・9/8 プリントパック
		7,026	サポセン印刷、ラミネート代
	169,613	132,476	

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 4 年 3 月 31 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 ママほぐ

代表者氏名 高村 えり子

令和 3 年 4 月 26 日付け 3 茅市自第 36 号で交付決定を受けました「茅ヶ崎市の産後のお母さんのためのポータルサイト」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。


1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業名	茅ヶ崎市の産後のお母さんのためのポータルサイト
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	<p>『茅ヶ崎市の産後のお母さんのためのポータルサイト』の作成と運行</p> <p><実施にあたり> NPO法人セカンドワーク協会様にポータルサイトの制作を依頼しました。 会議は全て（講習を除く）ZOOMを使ったオンラインで行いました。 9月のリリース後から自団体でポータルサイトの更新ができるよう講習を受け、開始しています。</p> <p><実施内容> I. ポータルサイトの作成 ポータルサイトの内容は以下5つの柱で行いました。</p> <p>①産後ケアの啓発のためのコラム作成（2月現在6記事） 『お母さんが一人で子育てを頑張らなくていい』『子育てを周りに頼ることの大切さ』を、コラムとして掲載しています。お母さんだけでなく、その家族や地域の皆様へ宛てた『脱・孤育て』今年度始まったばかりの『産後ケア普及』のための啓発活動を行いました。</p> <div data-bbox="523 1160 1366 1317" style="background-color: #f8d7da; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>子育て中のあなたは、決してひとりじゃない。あなたの子育てを見守りたい、助けたい、伴走したい。 ここでは、産後ケアの啓発や、地域のサポーターの方々による、お母さんへのメッセージをお届けします。</p> </div> <div data-bbox="523 1361 1366 1720" style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <h2 style="margin: 0;">齋藤 弓子さん</h2> <p style="margin: 0; color: #c00000;">齋藤助産院 院長</p> <p style="margin: 0; color: #000080;">『地域の開業助産師が行う 産後ケアという名の子育て支援』</p> <p style="margin: 0; color: #000080; background-color: #e91e63; padding: 5px; display: inline-block;">続きはこちらから</p> </div> </div> </div> <p>②専門家による子育て情報を提供するコラム作成（2月現在20記事） 子育てコラムは無数に存在しますが、困った時には実際に会って相談ができる地域に根ざした活動をしている専門家に依頼しました。</p>

ここでは、お母さんに寄り添うマチのサポーターの方々が書いた子育て情報をお届けします。



「Motherhood〜母であること〜を喜ぶ、楽しむ、愛しむ」 #6
働く母と子育て母

2022年1月26日



「Motherhood〜母であること〜を喜ぶ、楽しむ、愛しむ」 #5
母は子の安全基地

2022年1月5日



「わたしと帝王切開
〜聞いていい 伝えていい〜」

2022年1月5日



「知って欲しい！産後のママの身体の大切さ」



「ちゃんとしなきゃ！
は誰のため？」

2021年12月28日



「時短とは！？」

2021年12月6日

③子育て情報の可視化

子育て支援団体やサロン、講師へ声をかけ一覧できるページを作成しました。

また、『ママほぐで会える』の場合はマークをつけ、お母さんと講師が繋がるきっかけとなるようにしました。

お母さんの居場所マップ



お母さんの居場所マップ

茅ヶ崎あたりのお母さんの居場所をマップ化しました！

<https://pan2colouration.wixsite.com/chiga-sakimama>



湘南助産師会 助産院マップ

<https://shonan-mw.com/facility/>



柳川 友紀

ベビーウェアリングコンシェルジュ

養育者が心地よく、安全に抱っこ、おんぶで
できるようにお伝えしています。

<https://yanagawayuuki.com/>



はじめりさ

一般社団法人 離乳食インストラクター認定講
師

母子栄養協会 幼児食アドバイザー

母子栄養協会 妊産婦食アドバイザー

④開催告知と活動報告

イベント毎の開催告知と、イベント終了後は開催中の様子を写真で
紹介しています。

⑤賛助会員の募集

応援してくださる個人・団体の皆さまへ向けて、改めてどういった
活動をしているか紹介し、どういったことへ寄付が使われるか明記
しました。

年度毎に寄付して下さった方の一覧を作り、ご希望の方は所属の
URL（ホームページ等）を同時に公開しています。

(ポータルサイトトップ画面)



II. ポータルサイトを知っていただくためのチラシ作成

名刺サイズ（両面）1,000枚、A5サイズ（片面）1,000枚を作成しま
した。

・配架場所

広報掲示板、各地域集会施設（コミセン）、市政情報コーナー、公民
館、図書館、体験学習センター、青少年会館、市役所本館1・2階女

	<p>子トイレ・授乳室、子育て支援課、支援センター、ファミリーサポートセンター、市民活動サポートセンター、まちづくりスポット茅ヶ崎、市内病院（産科）・助産院・子ども食堂・美容室・自宅サロン等</p>
<p>事業の参加者数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトの訪問者数 3,253（2022/03/31時点） ・ポータルサイトのページと記事数 『安心して子育てができるマチへ』…6記事 『子育てナビ！-INFO-』…20団体 『子育てナビ！-MEET & TALK-』…23記事 『イベント』…26件 その他固定ページ…5件
<p>事業の日程</p>	<p>2021年9月28日 公開</p>
<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>I. ポータルサイト訪問数 (2021/09/28～2022/03/31の通算)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問者数 3,253 ・ユーザー数 1,837 ・ページビュー数 9,643 ・直帰率 49.64% <p>II. 賛助会員数 14名さまからご支援頂きました。</p> <p>III. ポータルサイトを見られたお母さんからのご感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもとても良い情報をありがとうございます。 <p>コロナ禍でママ友なども作りにくく口コミなどもなかなか得られない中で大変ありがたいです。</p>

・このような活動に救われるママはたくさんいるとおもいます。応援します！

・県外出身なので、こういう場を設けて頂けるのはとてもありがたいです！！

という声が寄せられました。

また、今後の方針を検討したくアンケートを実施したところ、

・サイトの存在をどこで知りましたか…『Instagram』50%と最も多い

・サイトの総合的な満足度を教えてください…『良い』『やや良い』を合わせると99%

という結果になりました。

IV. 今後の展望

・『子育てナビ！-INFO-』『子育てナビ！-MEET & TALK-』の充実今年度は、子育て支援者（専門家）にコラムの内容を特に絞らずに、その専門分野の記事を執筆して頂きました。専門家が主体となり、お母さんへ届けたい育児アドバイスがメインとなっています。来年度以降はそれに加えて、アンケート結果や、現場でお母さんの悩みや困りごとをお伺いし、それについて掘り下げていく記事を多く掲載したいと考えています。実際に聞く困りごとが『部屋が散らかっても片付けない』や『朝の支度がうまくいかずお出かけが遅れてしまう』など、生活に根付いた困りごとが多かったためです。これにより、お母さんにより身近なポータルサイトになっていければと思います。

・オンラインからオフラインへ オフラインからオンラインへ
こちらのポータルサイトは、感染症が拡大する中で、居場所に来られないお母さんへのオンライン支援が1つの目標でした。今年度中も緊急事態宣言などありましたが、その間もポータルサイトを通しお母さんと繋がれたことは大きな成果でした。

一方で、実際に会うこと（オフライン）の大切さも感じています。今後も居場所や産後ケア活動を継続し行い、そこにポータルサイトが加わることで多面的な子育て支援を行なって行きたいです。

V. 取材歴・ニュースリリース

・ラジオ日本

SWEETS!!女神の選択 2021/8/30～9/2放送

・タウンニュース茅ヶ崎

人物風土、社会面に掲載 2021/10/15号

・主催 ぽかぽか保育園

地域で子育て! ～地域が子どもを育て、子どもが地域を育てる～
2021/12/8登壇

・茅ヶ崎市発行『広報ちがさき』

市民の活動だより欄 2022年1月号掲載

・主催 NPOサポート茅ヶ崎

地域の居場所づくり交流会VI@茅ヶ崎 2022/2/26登壇

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	14,962	12,732	団体活動費より支出
補助金収入	100,000	100,000	市民活動げんき基金補助
	114,962	112,732	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1.謝金	55,000	51,000	コラム執筆代 ①産後ケアの啓発のためのコラム 3,000円×5人 ②専門家による子育て情報を提供するコラム 2,000円×18コラム
2.印刷製本費	4,962	6,732	ポータルサイトPR用 両面カラー名刺サイズ1,000枚 4,763円 片面カラーA5 500枚 1,969円
3.委託料	55,000	55,000	HP作成業務委託費用:セカンドワーク協会
	114,962	112,732	

市民活動推進補助事業実績報告書

令和4年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 わんにゃんマルシェ実行委員会
代表者氏名 古知屋 友里

令和3年4月26日付け茅市自第35号で交付決定を受けました「捨てられる動物たちの命を救うイベント『わんにゃんマルシェ』」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

事業名	捨てられる動物たちの命を救うイベント 「わんにゃんマルシェ」
事業の実施内容 ※実施方法、場所等を具体的に記入してください。	実施場所：第一カッターさいろ公園（茅ヶ崎中央公園） 事業内容： 捨てられるペットがいない社会を目指して、動物愛護の啓発活動と保護団体さんの応援を目的としたチャリティイベントを開催。また新たに団体のホームページを作成、年間を通してわんにゃんマルシェの活動と動物愛護について発信。 イベントは保護犬保護猫の譲渡会を中心に開催。参加保護団体9団体、キッチンカー8台、物販出店者5店舗、わんにゃんミュージック有志の音楽演奏、動物愛護のパンフレット配布。 ホームページでは、イベントの告知、犬猫コラム、保護団体の紹介、保護犬保護猫の里親募集、わんにゃん応援団のページを作成。動物愛護に関する情報を発信しSNS等を使って広く拡散。
事業の参加者数	延べ人数 約1,000名（譲渡会入場者数約800名、スタッフ他参加関係者約100名、他来場者数約100名）
事業の日程	令和4年3月27日（日）11:00～15:00
事業の成果と今後の展開	令和3年度も新型コロナウイルスの影響で世の中の様子を見ながら実行委員会スタッフで協議の上、当初の予定（令和3年秋にイベント開催、講演会やしつけ教室マナー教室の実施）を変更し、今年度も前回同様保護犬保護猫の譲渡会を中心に規模を縮小しての開催となりました。集客も大きく告知せず、予定していたチラシの配布も最小限の枚数に抑え、WEBとSNSでの発信を中心に行いました。 開催実施日も予定していた令和3年の秋には緊急事態宣言、蔓延防止等重点措置などから開催をあきらめ、令和4年の3月27日に開催延期とし、3月蔓延防明けぎりぎりのところで何とか開催することが出来ました。 前回同様保護犬保護猫の譲渡会会場のみ入場料（小学生以上おひとり100円）をいただき、キッチンカー、物販ブースは入場自由としました。

コロナ対策として、会場を区切って入り口を設け一度に入場できる人数を制限、また会場入り口での検温・消毒・名簿の記入にご協力いただきました。また前回会場に入るために待つ人が長蛇の列になってしまった反省を受け、今回は入場を時間制にしてあらかじめ整理券を配布、待ち時間の短縮、列の分散が出来たかと思えます。ただ名簿の記入には時間を取られてしまい思っていたよりも入場に時間がかかってしまいました。

今年度も市内の大きなイベントが軒並み中止の中で、活動の場を制限されていたキッチンカー出店希望者が多く、また直前までの蔓延防止等重点措置のため外出制限されていた市民の方も、久々のイベントそしてちょうど桜の季節ということで昨年度よりもさらに多くのご来場者数となりました。

譲渡会会場では入場料をいただくこと、コロナ対策にご協力いただくこと、キッチンカーでの買い物はテイクアウトのみとし会場内での飲食はご遠慮いただき、ゴミも各自持ち帰ってもらうようご協力を仰ぎ、ご来場の皆さまほとんどの方がきちんとルールを守ってイベントを楽しんでくださり、茅ヶ崎市民の意識の高さを感じさせていただきました。

イベントの開催に向けて準備をしつつ、今年度はげんき基金の補助金にてNPO法人セカンドワーク協会さんのご協力の元、わんにゃんマルシェのホームページを作成いたしました。ホームページ作成の目的は、私たちの動物愛護への想い、活動を知ってもらうこと、イベントの周知、また保護犬保護猫のボランティア団体さんと連動しての里親希望の方とのマッチングを進めることです。

昨年末にサイトオープンしそれから3か月間、イベントに向けて閲覧数も右肩上がりに延びて、何よりサイトの滞在時間が平均2分半ととても長く、これは多くの方がわんにゃんマルシェに興味を持って私たちの活動をじっくりと見てくれたという証拠だと思っています。

サイトオープンまでの準備期間、そしてオープンしてからもスタッフが力を合わせて情報を集めホームページを更新し、それをSNSで拡散することで多くの方に知ってもらうことが出来たと思えます。実際にイベント会場でホームページを見たインスタグラムを見たという声も多くいただきました。イベントへ向けてのWEBでの発信の相乗効果も今回の来場者増加の一因になったと考えられます。

今回のイベントでの寄付金総額 226,701円
入場料：77,300円
出店料：55,000円
このうち25,000円×8団体＝200,000円を寄付
残金は次回寄付金に繰り越し
譲渡会実績（トライアル含む）
犬：12匹
猫：6匹

今後の展開として

2年続けて新型コロナウイルスの世の中の状況を鑑みつつのイベント開催となりました。今後新型コロナウイルスと共存せざるを得ない世の中で、大規模なイベント開催の難しさを改めて考えさせられました。リアルに動物たちと触れ合えるイベントを企画しつつもオンラインでの発信や小規模でもできるイベントの開催など、もっと細やかにそして多様な企画を考えていかなければならないと思っています。

令和4年度もげんき基金の事業に応募しており、今年度は大きなイベントだけではなく小さな会場でもオンラインでも発信していけるよう動物愛護を考えるきっかけとなる「いのちの教室」を企画、そのための動画作成も進めていきたいと考えています。

私たちの活動は継続し続けることに意義があると思っています。もし仮に大きなイベントが出来ない事態となっても、いろんな形でいろんな手法で私たちの動物愛護の根底にある「その動物の命に責任を持つ」という考えを発信し続けていきたいと思っています。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
出店料	25,000	55,000	キッチンカー5,000円×8・物販3,000円×5
入場料	70,000	77,300	小学生以上おひとり100円×773名
団体収入	38,150	177	団体運営資金より
補助金収入	220,000	206,000	市民活動げんき基金補助 (14,000円返納)
	353,150	338,477	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
賃金(会員外)	50,000	53,100	警備員日当23,100円×1 受付会場整備 5000円×6人
謝金	60,000	0	講演会、しつけマナー教室実施せず
旅費	12,000	10,926	茅ヶ崎市内15名5,660円 市外4名(東京・ 横浜・藤沢)5,266円
物品費	55,700	37,521	ワイヤレスマイクセット18,360円・体温計 3,199円×2個・立ち入り禁止テープ999円× 2個・乾電池2,849円・トイレトーパー250 円・養生テープ942円・ゴミ袋437円・消毒 液除菌シート2,497円・文具類990円・コピー 代2,800円(カラー65枚、白黒170枚)
印刷製本費	20,000	14,110	チラシデザイン料10,000円・印刷代1,000枚 4,110円
通信運搬費	5,550	1,480	レターパック370円×4枚
使用料・賃借料	24,900	23,040	公園使用料16,800円・サポセン資材(テント 等)1,400円・ダスキンレントオール(パー テーションポール330円×12本・チェーン 440円×2本)4,840円
HP制作費	55,000	66,000	HP制作費66,000円
寄付金	70,000	132,300	入場料おひとり100円×773名=77,300円・ 出店料55,000円
	353,150	338,477	

第10号様式（第17条関係）

購入物品使用報告書

1	物品の名称	取得日	取得価額
	ワイヤレスマイクスピーカーセット	令和4年3月20日	18,360円
	使用方法		
	イベント会場内アナウンスに使用		
2	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		
3	物品の名称	取得日	取得価額
	使用方法		

- 備考 1 使用方法欄には、取得した物品をどのように使用したかを、具体的に記述してください。
- 2 「ユーザー登録」を必要とする物品を購入した場合は、団体が登録し、登録したことがわかる書類を添付してください。
- 3 購入した物品の写真及び物品を使用していることがわかる写真を添付してください。



市民活動推進補助事業実績報告書

令和4年3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 一般社団法人4Hearts

代表者氏名 那須かおり

令和3年4月30日付け茅市自第38号で交付決定を受けました「みみとこころのポータルサイト」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

<p>事業名</p>	<p>みみとこころのポータルサイト</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>◆みみとこころのポータルサイト</p>  <p>ろう学校の音楽教師、実習先を見つけるのが困難という理由で大学入学を断られそうになるも管理栄養士として活躍している聴覚障害をもつ社会人、デフフットサル日本代表メンタルトレーナーとの対談、両親がろう者で手話で育った聴者（CODA）の想いなど、さまざまなジャンルの記事やろう者・聴者へのインタビュー・対談を掲載しました。</p> <p>ろう者インタビューに関しては、誰もが見られる動画にするためにも、ろう者が話す手話を読み取って文字起こしをし、字幕編集をする配慮をしました。</p> <p>1つ1つ質の高い記事を執筆者と丁寧により取りししながら校正・制作しています。</p> <p>◆みみここカフェの実施</p> <p>参加者の日頃感じていること、周囲の人には言いにくいこと、我慢していることなどを、哲学対話という手法で対話をする場を提供しました。</p>

コワーキングスペースチガラボでのリアル開催を想定した予算申請だったが、昨年度に続きコロナ禍の影響が収まらなかったことから、今年度はオンライン開催となりました。

反面、メリットもあります。ガンで入院中の病室から参加してくださった方、他県からの参加者、線維筋痛症で移動困難な方、支援テクノロジーの開発者など、多様性に富んだ参加者が増えました。

第1回みみここカフェから関わってくれているメンバーが、引き続きサポートをしてくれています。情報保障も手話通訳2名、音声認識を毎回必ずつけています。

また、その都度ライターさんによる質の高いレポートを「みみところのポータルサイト」に掲載しています。



◆チラシ制作

4Heartsの団体および活動内容の周知活動。

予算段階ではA6フライヤーの予定でしたが、情報量を鑑みてA4のチラシに変更しました。

昨年度まで『手話特区構想』と言っていたものを『スローコミュニケーションプロジェクト』と名称変更し展開しています。

ポータルサイト、みみここカフェ、神奈川大学との共同研究などのさまざまな活動を、『スローコミュニケーション』ブラン

	<p>ドの傘下に置き、コンテンツ化させました。 そのため、ポータルサイトやみみここカフェの集客・認知向上にも繋がることから、チラシ制作を実施しました。</p> 
<p>事業の参加者数</p>	<p>サイト訪問者 約1万4000人 みみここカフェ参加者 44人</p>
<p>事業の日程</p>	<p>みみここカフェ (偶数月1回 日曜日の10時～12時開催)</p> <p>第4回 4月18日 参加者6名 第5回 6月6日 参加者9名 第6回 8月29日 参加者11名 第7回 10月17日 参加者4名 第8回 12月19日 参加者5名 第9回 2月6日 参加者9名</p>
<p>事業の成果と今後の展開</p>	<p>◆みみとこころのポータルサイト</p> <p>ポータルサイト記事数・内訳 66記事 ※エッセイ・寄稿・お知らせ(うち18記事は無償) 9対談記事 ※9動画はYOUTUBE</p> <p>2021年4月～2022年3月末 訪問者数 約1.4万人</p>  <p>「みみここ」検索1位</p>

サイトアップ作業はNPO法人セカンドワーク協会さんが実施しています。

予算段階では、聴覚障害団体が数億円を集めて20年末に建設した「神戸長田ふくろうの杜」（相談支援・就労継続支援・地域密着型通所介護・放課後等デイサービス・生活介護の聴覚障害者専門複合施設）への出張インタビューを実施する予定でしたが、コロナが収まらなかったことから訪問を断念しました。

8月にヘッドフォンに砂嵐を流しながらきこえない・きこえにくい状態を体験する「聴覚障害体験」を実施し、手応えを得たことから、ヘッドフォン・MP3の追加購入を決意。

11月5日付で助成金変更申請が受諾され、インタビュー対談謝金の一部を機材購入のための物品費としました。

それらは早速、小学校2校への特別授業や、茅ヶ崎市役所障害福祉課の研修にも使用されました。23年度事業にも使用していく予定です。

また、今年度は100万円以上の寄付が集まりました。

茅ヶ崎市内をはじめとして、県内外からさまざまな問い合わせが来るようになり、関連機関に繋いだりすることも出てきました。（例えば、きこえない子供の親からの問い合わせ、近くに聴覚障害団体がいないかなど）



◆みみここカフェ

2022年2月で第9回となりました。

毎週月曜日のお昼に、茅ヶ崎駅南口の飲食店をお借りしてランチタイムを提供していますが、みみここカフェの参加者が待ち合わせて顔合わせをすることも増え、横のつながりや広がりができてきました。

リアルに会った後に、再度みみここカフェで集まって対話をする、信頼関係の上でより深い話になっていくという相乗効果があるようです。

適度な距離感でそれぞれの変化を感じながら、苦しみも喜びも分かち合える関係性を育めたことにより、アイデンティティを見出して前向きに生きようという意欲をじんわり感じるような場になってきています。



2021年6月に実施した第5回みみここカフェでは、NHK『ろうを生きる難聴を生きる 気持ちを言葉に～聴覚障害者への心理支援～』の密着取材を受けました。

<https://www.nhk.or.jp/heart-net/program/rounan/1786/>

みみここカフェのアンケート結果より

「この一年の対話の中で、変化を共に喜べた幸せ。また新たに自分を知れたこと。そして、私が唯一今泣ける場所なんだとわかりました。」

「色々な思いが溢れてしまっていて、言葉にできなかったけど、聞いているだけでもとてもとてもいい時間でした。」
 「人伝いでなく直接、色々な特性を持った方々のお話が聞けてとても勉強になりました」
 「思っている事を真っ直ぐに話す事ができる（吐き出せる）『安全な場』である事が、参加者にとってとても大切な居場所になっていると感じました。生きること、死ぬことはそう簡単なテーマではないと思いますが、皆にとってとても大事な時間であったのではないのでしょうか。那須さんが目指される、双方が理解し合うまちづくりに向かって、しっかりと耕されているなと感じました。」（キリン福祉財団常務理事）

◆今後の展開

- ① スローコミュニケーションプロジェクトの傘のもと、これまでの活動をコンテンツ化していきます。



- ② 雄三通りを中心に、スローコミュニケーションストリートにするべく、さまざまな施策を実施します。指差しメニュー・コミュニケーションボードなどを、お店への丁寧なヒアリングをもとに提案。
 それだけでは手段で終わるので、店側のスロコミュに対する想いや、コミュニケーションボードを設置する想いを可視化させる仕組みとセットで設置を考えています。
 また、なぜそれが必要なのかは口頭だけでは分かりづらいというご意見もあり、マンガや動画のような形で伝えていけるようにする案も出ています。



- ③ 子どもの目線に立ったスロコミュニケーション。
子どもたちによる、お店などへのスロコミュの観点からのフィードバックを実施するイベントをする子ども事業を22年度は展開していきたいと考えています。

多様性に触れ、アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に気づき、他者に対する思いやりや一歩想像するアンテナを立てる仕組みを作ります。

子どもたち自身がカイゼンする人になり、自分の意見がしっかり傾聴される体験をすることも大切です。また、「子ども目線」を写真や動画に残し、写真展をすることでスロコミュの本質を知ってもらうことも出来るかもしれません。

- ④ 21年度はNPO法人ETIC.の花王社会起業塾の塾生として8ヶ月間学びました。今後も継続してその繋がりががあります。その関係で、花王（株）、（株）リコーなどにアンケートを実施することができました。その結果、企業内での当事者と周囲の人とで、会話理解の認識に多少乖離があるというデータが取れました。

そのデータを元に、セミナー・研修や産業カウンセリング、ブランドにスロコミュを組み込むコンサルが実施できると考えています。

- ⑤ 令和3年度キリン福祉財団助成を活用し、小冊子を制作。それを市内や協力企業に配布し、スロコミュ導入店舗や協賛企業を増やしていきます。

また、第2弾の制作には認知向上も狙いクラウドファンデ

ィングを活用することも視野に入れていきます。

- ⑥ 神奈川大学との共同研究は引き続き実施します。
一般社団法人結ライフコミュニケーション研究所によるコミュニケーション支援と併行して、雄三通りのつちや酒店にスローコミュニケーションな取り組みを展開します。
また、他にも美容院、郵便局、銀行などに展開していき、点と点を線で結ぶような、まちのコミュニケーションデザインを実施したいと考えています。



【ひと・まち・コミュニケーションデザイン】

スローコミュニケーションプロジェクトの「スロー」とは「心のゆとり」のこと。

コミュニケーションとはキャッチボールのことだけではなく、「その瞬間を誰もが共有できるあたたかな場」のことでもあると思います。

後からこうだよ、あそこはこんな話をしているよと知るのではなく、分かったふりをしたり、お年寄りも些細な諦めを積み重ねたりせず 「同じ瞬間に笑い、同じ瞬間を共有する」それによって得られる心の通い合う場のことです。

今の社会や企業は、正解や売上を求めているし、SNSも誤

ったことを言うとすぐに炎上する失敗の許されない雰囲気
が蔓延しています。

しかし、許しあえる環境がないと他者理解も進まないの
ではないでしょうか。コミュニケーション手段なんて、人や場
によって無数にあり、マニュアルから外れることのほうが多
いです。

正解や答えのない状態をむしろ良しとする。

そのほうが沢山の掛け合わせが可能だし、そこがスローコ
ミュニケーションプロジェクトの価値なのだと伝えていける
のが大切だと思います。

スロコミュ×防災

スロコミュ×子どもの孤立

スロコミュ×ビジネス などなど・・・

みんなが自分の分野と掛け合わせて考えられる、**文化の源流**
なのです。私たちが将来的に作りたいカフェバーのような物
理的な場も、スローコミュニケーションをテーマにしたピッ
チができて企業との協働が図れる場にしたいと思っていま
す。

そのためにも、『スローコミュニケーションプロジェクト』
を一般社団法人4Heartsのブランドにし、今までの活動を集約
します。（令和4年度げんき基金申請内容）

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1 団体収入	107,455	131,552	団体活動費にて充当
2 事業収入	72,000	0	みみここカフェ参加費
3 補助金収入	600,000	523,000	市民活動げんき基金補助(77,000円返納)
	¥779,455	¥654,552	

支出

(接続紙)

科目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	368,700	366,000	みみここカフェ手話通訳謝金 ¥5,000×2名×6回＝ ¥60,000 インタビュー対談謝金 ¥5,000×9本＝¥45,000 ろう者インタビュー動画編集 ¥5,000×3本＝¥15,000 動画用字幕文字起こし ¥2,000×3本＝¥6,000 記事執筆依頼原稿料 ¥5,000×48記事＝¥240,000
委託料	205,700	186,200	ホームページ保守管理委託費用 ¥13,200 Webデザイン料 ¥33,000 聴者インタビュー動画編集 ¥66,000 ライター委託費 ¥74,000(フライヤー文章:¥4,000 対談: ¥10,000×2 みみここカフェ記事執筆:¥25,000/3ヶ月×2)
印刷製本費	2,020	5790	チラシ印刷費 A4×1,000部 ¥5790
通信運搬費	16,200	11,800	サーバー代 ¥990×12か月 ¥11,800
使用料・賃借料	60,000	0	
会員旅費	37440	0	
物品費	89,395	84,762	非接触体温計 ¥3,980 透明防塵マスク(ルカミイ)880×20個 ¥17,600 (顔が見えマスク)1,480×4個 ¥5,920 感染対策アルコール消毒 ¥2,470 ヘッドホン¥3,999×5、MP3プレイヤー¥3,980×10、 microSD5枚セット¥3,480(Amazonセール割引-¥8,483) ¥54,792
	¥779,455	¥654,552	

市民活動推進補助事業実績報告書

令和 4 年 3 月 3 1 日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 特定非営利活動法人 S U P U
スタンドアップパドルユニオン
代表者氏名 細井 隆

令和 3 年 4 月 2 6 日付け 3 茅市自第 3 7 号で交付決定を受けました「夏休み子ども向け S U P 体験会」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績

別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

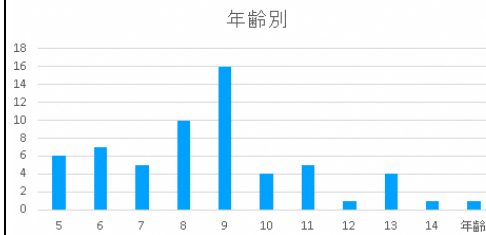
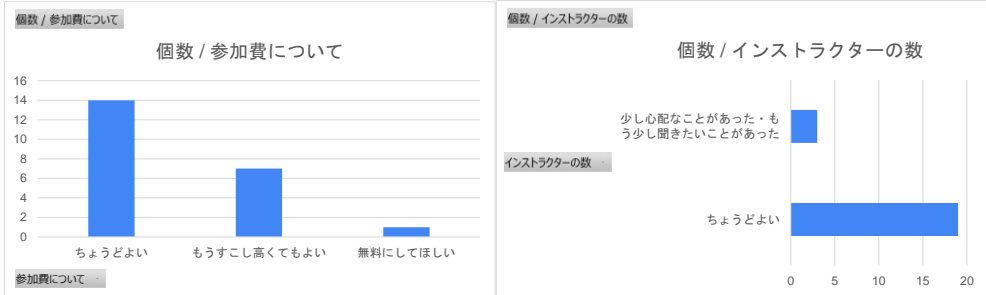
別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

<p>事業名</p>	<p>夏休み子ども向けSUP体験会</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>【体験会開催のお知らせおよび参加者募集】</p> <p>市内の小中学生を対象とし、チラシ、ポスターを地域周辺サーフショップ、コミュニティセンターに配布しました。</p> <p>弊団体のホームページ、Facebookに告知し、予定の3日間の日程全てが、告知後1か月で申込者多数により、満員御礼となりました。</p> <p>※募集期間：2021年6月8日～7月5日</p> <div data-bbox="592 696 919 1144" data-label="Image"> </div> <p>★参加の仕様へ</p> <p>持ち物：参加費500円(お釣りの無いようお願いします)。飲み物、日焼け止め、タオル、船酔い心配な場合は酔い止め薬</p> <p>※予約時には、メールまたは電話にて、氏名(お子様)、学年(年齢)、住所、電話番号、メールアドレスをお伝えください。</p> <div data-bbox="1050 815 1155 898" data-label="Image"> </div> <p>★コロナ感染症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○パドルなどの道具で手を触れる部分は、事前にアルコール消毒を行います。 ○ご参加当日、ご自宅で体温の計測、健康状態の確認を行ってください。 ※37.5度以上の熱がある場合、せきやのどの痛みがある場合はご遠慮ください。 ※受付時に体温の計測結果をお伺い致します。 ○集合時には、マスクをして集まってください。 ○受付時に不織布マスクを配布し、アルコール消毒をしていただきます。 ○講師は全員、陸上での講習時において、フェイスシールドを着用します。 ○その他、講習時においては、密を避けるため講師1人あたり参加者3～4人で行います。 <p>【事前準備】</p> <p>①物品購入 キッズ用ソフトSUP+パドルセット4セット ⇒より安価なものをチョイス。 コロナウイルス感染症対策物品 ⇒費用削減策として、Hosoi Surf&スポーツで使用しているものを活用しました。</p> <p>②インストラクター配置 ⇒当初予定人員よりも増員、謝金交渉。</p> <p>③コロナウイルス感染症対策 ⇒インストラクター増強、検温指示、実施。 ※参加者も協力的でスムーズでした。</p> <p>実施場所：茅ヶ崎海岸ヘッドランドビーチ西側 実施方法：2021年小中学校の夏休み期間の3日</p>
<p>事業の参加者数</p>	<p>3回、3日間延べ60名</p>

事業の日程	<p>2021年08月01日（日） 8：30～11：00</p> <p>2021年08月22日（日） 8：30～11：00</p> <p>2021年08月29日（日） 8：30～11：00</p>
事業の成果と今後の展開	<p>1) 場所・時期 夏休みの時期は、海岸が混む合うことも想像しましたが、ロケーションとして選んだヘッドランドビーチでは混み合うことなく安全に開催できました。 2021年6月8日から募集を開始後、夏休み期間ということ、コロナウイルス感染症の最中で外出を控えていた方々もいて、希望者が多く、早々に満員となりました。 ただ、同じ子が複数回申し込みもあり、なるべく数多くの子どもが参加できるように、回数の制限を設けるべきとも思いました。</p> <p>2) インストラクター人員 当初は1回あたり6名体制で考えていましたが、初回には安全を考え、9名で臨んだところ、それ以下のインストラクターにするのは難しいと判断し、残り2回も9名体制としました。 一部、学生ボランティアにもお願いし、子どもたちも不安なく参加できたものと思います。</p> <p>3) 参加費用 一回あたりの参加費が500円であることは概ね好評であったと思います。</p> <p>4) 反省点 体験会の集合から開始時刻まで間延びすること、それぞれの班の進め方（カリキュラム）がインストラクター毎にバラバラであったことが、一部の子ども達に不安を与えた部分もあったようです。そのあたりは、インストラクターとも連携してより良い体験会となるよう、統一した内容になるよう検討したいと思えます。</p> <p>5) 来年度以降について SUPが、子どもたち、親たちからの注目度が高いと改めて感じました。チラシ配布時にも、茅ヶ崎を盛り上げる一つとしてSUPを活用することを歓迎してくださる地域の方々もおられ、海のアクティビティとして継続して行っていきたいと思えます。 同時に、かながわ美化財団とも連携して、海のゴミ拾い冊子を配りました。それも合わせ、海のこと広く認知いただき、親和性も高めていきたいと思えます。</p>

以下、参加者からのアンケート



●小4の娘が参加しました。初めてのSUP体験はドキドキもあったようですが、優しいインストラクターの皆さんのおかげでとても楽しんだようです。普段は新しいことへのチャレンジがなかなか出来ない慎重派の娘が興奮気味に色々話してくれたのがとても印象的でした。旅行もできなかった夏休みにとっても楽しい思い出をありがとうございました！

●安全にも配慮いただきながら、しっかり体験する機会をいただいていたありがとうございました。

●ありがとうございました。初めてのsup体験でしたが、とても楽しかったようです。なかなか体験出来る事もないので有難いイベントでした。また、来年も出来たら参加させて頂きたいです！



●3日間ともお世話になりました。みなさん優しく教えてくれたり遊んでくれたりして、子供たち大喜びでした。コロナで遊びに行かれない中、夏休みの思い出ができました。本当にありがとうございましたm(_ _)m

●ひとり1つSUPもあり、子供もすごく楽しんでいました。

●とっても楽しく体験できました。

●楽しく体験できたようです。

●8時集合、9時開始だと一時間待つことになり退屈だったので集合から開始までの待ち時間を短くしてほしい。

●500円で、手厚く指導いただき、大変良い経験をさせていただきました。また機会があればお願いしたいです。

●とっても楽しかったです！またやってみたいです！



●またこのような機会があれば是非参加したいです。学校もオンラインでずっと家に閉じこもっていますので、ありがたい機会でした。ありがとうございました。スクールにも通わせたいくらいです。

●集合時間が早過ぎると思います。せっかく早くするのであればビーチグリーンとかしたらいいのかなと思いました。スタッフの皆さんはとても親切で、子供達は喜んでいました。また機会があったら参加したいです。

●たまたまうちの班は4人で1人のインストラクターだったので、1人が海に出てる間さんに、浜で待っていなくてはならず、途中で子供たちが待ちきれず海にどんどんと入って行ってしまいました。ちょっとそこが心配だったかなあと思う件ですが、ほんとに楽しい時間で、このような状況下でしたか、子供たちはほんとに楽しんでいました。心から感謝でいっぱいです。本来レッスンをお願いするならもっと高い金額と伺っています。ぜひできましたら、何度か体験できたらと思います。3回で5000円とか？ほんとに楽しい思い出をありがとうございました。今年の夏休みはこのイベントだけでしたが、親子共々楽しめました。

●初めての体験で、海で泳いだ事も数回しかありませんでしたが、優しくご指導くださり参加する事ができました。ただ海酔いしてしまったようであまり長くできませんでした。もし次回があれば対策してまた参加させていただきたいです。

●まずはこんな機会を我が家に下さってありがとうございました。貴重な経験が出来ました。意見としてはインストラクターに対して人数が多かったからか、うちの子は一旦、待ちになったまま20分ほど、放置されていました。私の方からインストラクターの方に声を掛けて再度面倒を見てもらえたので、そこらへんですが、ボランティアみたいなものですから、贅沢は言えないし、基本的には最高でした。ありがとうございました。



●素敵な体験会、ありがとうございました。子供がとても楽しんでいました。また来年も機会があればよろしくお願ひ致します。人気の体験ですぐ埋まって

●子供もとても楽しんでいて、貴重な体験ができました。楽しかったと喜んでいました。波があまりなかったのも特に心配なことはなかったのですが、波が強かったりする日だと、マンツーマンで見てもらえないのは少し心配かなと思いました。supの体験が500円でも破格の値段ですが、無料だともっと参加しやすくなるかなと思います。大人のsupヨガ体験などもあったら嬉しいです。

●今回は貴重な経験ありがとうございました。また、このような機会があれば、是非参加したいです。

●ものすごく楽しくて、コロナで出掛けられない中で夏休みの一大イベントでした。スタッフの方もとても優しく、ありがとうございました。また機会がありましたら、ぜひ参加させてほしいです。ありがとうございました！

●貴重な体験会を開催していただき、本当にありがとうございました。子どもたちに対して、凄く理解のある対応をしてくださって、本当にありがたかったです。子どもたちの安全面に気を配っていただききめ細かい対応をしていただいで安心して参加できました。



以上から、来年度はより充実した体験会となるよう内容を検討して、茅ヶ崎市の夏の風物詩として、SUP体験会を毎年行っていきたいと思っております。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 参加費収入	30,000	30,000	参加費 @500 × 20名 × 3回
2. 団体収入	204,600	159,136	SUPUで負担。一般SUPスクール等の運営資金から捻出。
3. 補助金収入	600,000	600,000	市民活動げんき基金補助
	834,600	789,136	

48000

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
1. 謝金	360,000	352,000	SUPインストラクター団体(一般社団法人日本SUP指導者協会:SIJ)講師料 予定: @20,000 × 6名 × 3回 実績: @16,000 × 1名 × 1回 @16,000 × 7名 × 3回
2. 備品購入費	6,100	0	消毒用アルコール¥2,000(@1,000 × 2)、 不織布マスク¥2,500(@2,500=100枚 × 1)、 フェイスシールド¥1,600(講師用10枚入り @800円 × 2) 実績: Hosoi Surfのものを活用
3. SUP機器購入費	308,000	305,800	キッズ用ソフトSUP+パドルセット @77,000 × 4式 ※レンタルで賄えない分の購入費用 実績: ¥69,500 × 4+消費税
4. SUP機器レンタル	90,000	99,000	キッズ用ソフトSUP+パドルセット @5,625 × 16式+消費税
5. 印刷製本費	18,000	13,392	チラシ@20 × 400枚、ポスター@200 × 50枚 実績: チラシ紙、印刷¥3,392 + ポスター紙、 印刷¥10000
6. 保険料	52,500	18,944	三井住友海上レクリエーション保険: @17,500 × 3回 実績: 期間の賠償¥5,000、8/1損保¥6,972、 8/22~29損保¥6,972
	834,600	789,136	

市民活動推進補助事業実績報告書

令和4年 3月31日

（あて先）茅ヶ崎市長

所在地

報告者 名称 NPO法人セカンドワーク協会

代表者氏名 四條 邦夫

令和3年4月26日付け3茅市自第31号で交付決定を受けました「～市民活動団体にIT伴走する～『Webサポーター育成事業』」事業の補助金に係る補助事業の実績を、次のとおり報告します。

1 事業実績


別添事業実施報告書のとおり

2 収支実績

別添収支決算書のとおり

備考 この実績報告書には、領収書の写しを添付してください。

事業実施報告書

<p>事業名</p>	<p>～市民活動団体に IT伴走する～「Webサポーター育成事業」</p>
<p>事業の実施内容</p> <p>※実施方法、場所等を具体的に記入してください。</p>	<p>潜在能力のあるシニア・ミドル世代（特に女性）に対し「セミナー等の学びの場」や、「現役世代の支援によるWeb制作実践の場」を提供し、Web制作という働きがい・やりがいのある仕事を遂行するスキルを身につけていただき、茅ヶ崎市の市民活動団体や小規模事業者にIT伴走する「Webサポーター」を育成することを目標とした。</p> <p>セミナーの告知を実施し、事前説明会を2回行って、セミナーのゴールを説明し、納得をいただいた4名の方々（うち女性1名）に参加をいただいた。コロナ下において思うような集客が実施できず、参加者は前年の8名に対し、半減したが、少数でも「Webサポーター」の育成に役立つと判断してセミナーを開催することを決定した。</p> <p>そして、あらかじめオリエンテーションを実施した上、10月より計6回のセミナーを実施した。</p> <p>その結果、2つのWebサイトの作成と、1つのWebサイトのリニューアルを通じWeb制作を行えるWebサポーターの育成に寄与することができた。</p> <p>(日程) 全9回（事業実施日は「事業の日程」欄を参照） (場所) チガラボ（事前説明会とオリエンテーションはオンライン） (参加者) ITリテラシーのあるシニア、ミドル（4名）</p>  <p>(新型コロナウイルス感染症対策)</p> <p>各回の対象人数は会場定員の半分とし、十分な間隔で席を配置するとともに、常に換気を行い、3密を回避した。参加者は発熱のないことを確認の上、マスクの着用とアルコール手指消毒を徹底した。</p> <p>毎回、チェックシートによる管理を実施した。</p>
<p>事業の参加者数</p>	<p>のべ32名（各回の参加者は「事業の日程」欄を参照）</p>

事業の日程

- ・ 9/15 (水) 18:30~20:30 事前説明会 参加者2名 (オンライン)
- ・ 9/22 (水) 18:30~20:30 事前説明会 参加者2名 (オンライン)
- ・ 9/26 (日) 13:00~15:00 オリエンテーション 参加者4名 (オンライン)
- ・ 10/3 (日) 13:00~18:00 第1回 セミナー 参加者4名
- ・ 10/17(日) 13:00~17:00 第2回 セミナー 参加者4名
- ・ 10/31(日) 13:00~17:00 第3回 セミナー 参加者4名
- ・ 11/14(日) 13:00~17:00 第4回 セミナー 参加者4名
- ・ 11/28(日) 13:00~17:00 第5回 セミナー 参加者4名
- ・ 12/5 (日) 13:00~16:00 第6回 セミナー 参加者4名

事業の成果と今後の展開

(事業の成果)

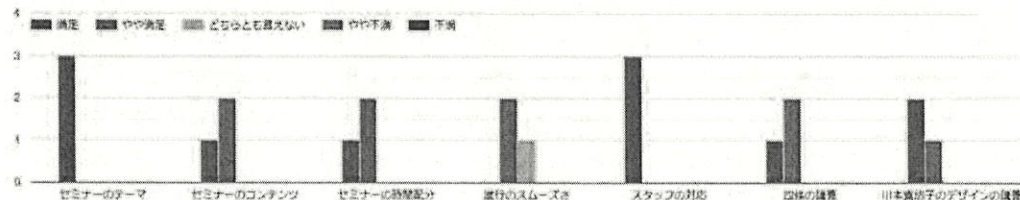
2つのWebサイトの制作と、1つのWebサイトのリニューアルを通じ、Webを制作することのできるWebサポーターの育成に寄与することができた。

また、このセミナーをキッカケにして、当協会に入会される予定の方もおられる。



(良かった点)

セミナーのテーマやスタッフの対応などは満足。コンテンツ、時間配分、講義などは、ほぼ満足。と、許容レベルのアンケート結果であった。



★アンケートコメント例

全くの初心者ですが、WordPressとCanvaを実習で学べたこと感謝しています。もっと難しい内容かと思いましたが、花屋サイトや自治会サイトのおかげでよくわかりました。また、WordPressの機能を自習でいじりまわしながらやれたことも理解を深めることとなりました。

(反省点)

一方、進行のスムーズさは「満足」と答えられた方はおられなかった。お一人の受講生が、非常に優秀で、難易度の高い質問をされることがあり、それに講師がその場で答えていたために、他の受講生がついていけない場合があった。講義の進行方法は改善の余地がある。

★アンケートコメント例

参加者のレベルが高い受講生の質問に答えているうちに講義が進み、ついていけない時間帯が何回かありました。一回ごとの終了時刻を30分前にして、専門性の高い個別の質問はそこに回していただけると嬉しいです。

(今後の展開)

コロナ下において、受講生を十分に集客できなかったのは残念だったが、Webサポーターの育成について、一定の成果はあったと判断している。

今回の反省点や、講師・スタッフの振り返り結果を反映させ、カリキュラムや教材の内容、講義の進行方法、サンプルWebサイトの完成度をさらに向上し、当協会の活動に活かしていきたい。

収支決算書

収入

科目	当初予算額	決算額	内 訳
団体収入	60	524	NPO法人セカンドワーク協会にて負担
事業収入	80,000	35,000	参加費 10,000円 x 2人 + 15,000円 (同一団体 2人)
補助金収入	111,000	76,000	市民活動げんき基金補助 (35,000円返納)
	191,060	111,524	

支出

科目	当初予算額	決算額	内 訳
謝金	50,000	15,000	セミナー講師謝礼 (10,000円 + 5,000円)
印刷製本費	14,060	49,500	セミナー用サンプルサイトレベルアップ作業謝礼
使用料・賃借料	107,000	3,410	セミナー告知チラシ 500枚 (ネット印刷) 3,410円
		0	事前説明会2回 オンライン開催
		0	オリエンテーション1回 オンライン開催
		38,400	セミナー6回 参加数24名 第1回 チガラボ代 1,600円x4名 = 6,400円 第2回 チガラボ代 1,600円x4名 = 6,400円 第3回 チガラボ代 1,600円x4名 = 6,400円 第4回 チガラボ代 1,600円x4名 = 6,400円 第5回 チガラボ代 1,600円x4名 = 6,400円 第6回 チガラボ代 1,600円x4名 = 6,400円
物品費	20000	5,214	教材書籍代 3冊 Amazon 5,214円
	191,060	111,524	

市民活動団体で
活躍する皆さまへ

Web
ホームページ

SNS

を上手に活用して、
あなたのグループの活動を
アピールしましょう!!



Webスキルを身に付けて 活動の幅を広げませんか?

2021年度 茅ヶ崎市 市民活動げんき基金補助事業

実践型 Webサポーターを育成するセミナーを開催します!!

最大
10団体
限定

市民活動団体の情報発信ツールとなるWeb (ホームページ) やSNSを制作・運用するためのスキルを身に付け、団体のWebサポーターとして活躍できるミドルからシニア層の人材を育成するセミナーを開催します。専門講師による制作方法の説明を受けながら、その場で実際にWeb (ホームページ) やSNSを制作する実践型セミナーです。

一般的なパソコンスキルがあれば受講可能ですので、ふるってご参加ください。

こんなホームページが
作れるようになります!!



※受講された方が実際に制作されたホームページです。

WordやExcel、インターネット、スマホ
を使える方なら、Web制作が可能です。

最新のデザインを取り入れた、
スマホでも見やすいWebです。

6回のセミナーで、
自力でWebとSNSが完成できます。

自団体に運用できるように、
お手伝いします。

セミナーの詳細は裏面をご覧ください

受講された方が制作されたホームページ



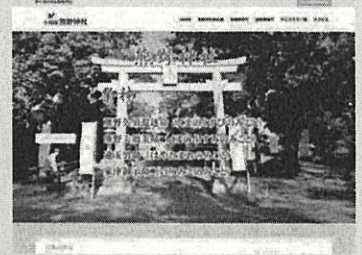
松林サポートセンター様
<https://shorin-sc.net>



親子の居場所を応援ラボ様
<https://oyakonoibasho.com>



防災本宿様
<https://new.bousai-labo.com>



小和田熊野神社様
<https://kabenet.info>

受講された方の声

初めてでも素晴らしいホームページが出来上がり、
心から満足しています。

今回受講をして本当に良かったと思います。
私には難しい内容でしたが、
丁寧に対応して頂けたので完成できました。



セミナー概要 (開催日程・時間)

事前説明会

下記日程のどちらかにご参加ください。

- 9/15 (水) 18:00~20:00 事前説明会 (会場:チガラボ)
- 9/22 (水) 18:00~20:00 事前説明会 (会場:チガラボ)
- ※9/9 (木) までに、NPO法人セカンドワーク協会ホームページから事前説明会にお申し込みください。

オリエンテーション

セミナーの事前準備を行います。

- 9/26 (日) 13:00~15:00 オリエンテーション (会場:チガラボ)

セミナー

全6回のセミナーでWebとSNSを完成させます。

- 10/3 (日) 13:00~17:00 第1回 Web制作基礎 (会場:以下チガラボ)
- 10/17 (日) 13:00~17:00 第2回 Web制作基礎
- 10/31 (日) 13:00~17:00 第3回 Web制作実践 (素材準備、実装開始)
- 11/14 (日) 13:00~17:00 第4回 Web制作実践 (実装)
- 11/28 (日) 13:00~17:00 第5回 Web制作実践 (実装)、SNS組込
- 12/5 (日) 13:00~17:00 第6回 成果発表会、懇親会

会場	茅ヶ崎駅北口徒歩5分のコワーキングスペース「チガラボ」 ▶ [アクセス] https://chiga-lab.com/guide
お1人の参加費	全6回 合計10,000円 (税込) ※オリエンテーションの日までにお支払いください。
使用教材	「いちばんやさしいWordPressの教本」第5版 5.x対応 ※教材は1団体につき1冊をこちらでご用意いたします。

- セミナーは無線LAN付きのノートパソコンをご持参ください。●Web制作の準備作業についてはオリエンテーションでご案内いたします。

※新型コロナの影響が強まった場合、オンライン講義に切り替えます。オンラインの受講方法はセミナーの初日にお教いたします。
 ※同一団体2名までご参加が可能です。2名参加される場合の参加費は、1人目は10,000円 (税込)、2人目は5,000円 (税込) いただきます。
 ※茅ヶ崎市以外の市民活動団体の方も参加可能です。 ※新型コロナの影響により、上記日程が変更になる可能性があります。

公式ホームページのお問い合わせフォームより、お問い合わせ・お申し込みください。

NPO法人 セカンドワーク協会 <https://second-work.or.jp>

セカンドワーク協会 検索



市民活動げんき基金自動販売機 設置協力企業

対象の自動販売機にて飲み物を買くと、売り上げの一部が市民活動げんき基金へ寄附となります。

湘南ヤクルト販売株式会社

設置場所：茅ヶ崎市体育館（茅ヶ崎市十間坂三丁目 6 番 5 号）



対象となる自動販売機は、こちらのえほし麻呂のデザインが目印です！

たくさんこの
自動販売機を利用
するぞよ！



指1本でできる
募金なのね！